

子育て支援だより

「子育てワンポイントアドバイス」

第180回 『読み書き：読字編』

作業療法士 塩津 裕康

作業療法士の塩津です。今回は、読み書きの中でも「読字」についてもう少し説明したいと思います。

○読字のトラブルあるある

幼児期後半から学童期にかけて、読字能力は大きく発達します。しかし、その発達段階において、さまざまなつまづきがあるでしょう。1文字ずつ読むことはできるが、文字のまとまりとして（単語）読むことが難しい、文章になると読み飛ばしてしまう、勝手読み・雰囲気読みをしてしまい書かれている文の意味を正確に理解できない…などが考えられます。

○読字に必要な能力

読字に重要な体の器官は、①姿勢、②目、③耳、です。「姿勢」は、目や耳の能力を最大限引き出すための土台となります。「目」はまず文字を捉えることが必要となりますが、その先に「耳」の情報（音）と結びつける必要があります。さらに、結びつけた目と耳の情報に「意味づけ」ができることにより、読字できることとなります。人は「視覚と聴覚の情報を結びつける」ことで言葉を獲得しているということです。

○能力を育む基礎として

やはり、しっかり「体を使った遊び」を行うことが大切です。個人的には山や川など自然の中で遊ぶのが良いなと思っています。なぜなら、自然は不確実性のある存在であり、体・目・耳、その他すべての感覚を駆使して体を使うからです。ただ、日常的に子どもを自然につれていくことも難しいですね…。

ですので、子どもが体全身を使用して遊ぶことの重要性は頭の片隅におきながら、日々子どもと関わる時間で色々試してみる事が大切です。お風呂で「しりとりに」や「言葉あつめ」をしても良いかもしれません。「虫取り」「カルタ」「風船バレー」「音楽」「買い物」「料理」などなど…。体・目・耳を統合する遊び・活動は日常に溢れていると思います。特別なことよりもまずは大人の得意を活かして、取り入れやすいものから試していくと良いと思います。

※塩津作業療法士は、あさひ園で個別療育・相談を行っています。

子育て支援事業紹介

すくすく相談の紹介

すくすく相談は、「ことばが増えない」「どもる時がある」「発音が気になる」など、ことばに関する療育相談で、月6回、朝日町保健福祉センターにて行っています。

小川言語聴覚士さんは優しく、保護者の方にも丁寧に説明してくれます。

相談をご希望の方は、子育て健康課（377-5652）まで、予約の申込をお願いします。



12月の子育て支援事業



日程	時間	事業名	内容	対象	場所	予約	担当
12/11(金)・15(火)・18(金)・22(火)・24(木)・1/5(火)・8(金)	9:00-12:00	あそび場	スキンシップ・ストレッチなどの遊び	発達障害の子どもと保護者	ほっとくらぶ	不要	ほっとくらぶ (377-3522)
12/16(水)	10:00-12:00	ほっとする会の親の会	茶話会				

*最終ページに子育て健康課の子育て事業を掲載していますので、ご覧ください。

*お問い合わせは、各担当者にご連絡ください。